

活動報告

研究センターの動き *

航空環境研究センターでは、令和3年度、主に次の自主研究、受託事業、研究発表・講演及び広報活動等を実施した。

1. 自主研究

【研究テーマ】

- (1) 主要海外空港の環境対策情報分析
- (2) 航空機騒音予測モデルの機能向上に関する研究
- (3) 騒音予測技術に関する海外モデルとの比較検討
- (4) 離陸滑走時の騒音指向性に関する研究
- (5) 予測用基礎データ最適化に関する検討
- (6) 空港周辺騒音測定への自動音源識別の適用に関する研究
- (7) 航空機騒音測定・評価手法に関する研究
- (8) 騒音影響評価の海外動向分析
- (9) 航空機騒音の音質評価に関する研究

2. 受託事業

- (1) 航空機騒音基礎検討業務
 - (2) 空港周辺航空機騒音等実態調査
 - (3) 航空機騒音予測計算作業
 - (4) その他航空環境に関する調査
- | | | |
|--------|-------|----|
| 委託者別件数 | 公的機関等 | 7件 |
| | 民間 | 3件 |

3. 研究発表・講演等

【学会発表】

- (1) 50th Inter-noise 2021 (第50回国際騒音制御工学会議) [米国/ワシントンDC]
<Keynote Lecture>
Efforts for reducing the impact of aircraft noise at Japan and worldwide airports and a suggestion for the improvement to the next generation

篠原 直明 (Naoaki Shinohara)

キーノートレクチャーとして、日本および世界の空港における航空機騒音影響軽減の取り組み、ならびに今後の改善に向けての提言を講演した。(web開催)

- (2) 50th Inter-noise 2021 (第50回国際騒音制御工学会議) [米国/ワシントンDC] Study on aircraft noise directivity of behind the start of takeoff roll, 中澤宗康、篠原直明 (Toshiyasu Nakazawa, Naoaki Shinohara)
- (3) 日本音響学会、騒音振動研究会 航空機騒音を音源とした室内外音圧レベル差測定手法の検討
下山晃司、篠原直明、大島俊也
- (4) 日本騒音制御工学会、秋季研究発表会 篠原直明、航空機騒音の短期測定による長期間評価の信頼性に関する検討～滑走路運用方向割合からの分析～
- (5) 台湾声楽学会
Monitoring changes in aircraft noise during the COVID-19 attacks in Japan, 山本貢平*、篠原直明 (Kohei Yamamoto and Naoaki Shinohara)

【論文】

- (1) International Journal of Environmental Research and Public Health, Representative Exposure–Annoyance Relationships Due to Transportation Noises in Japan, 横島潤紀*、森長誠*、辻村壮平*、下山晃司、森原崇* (Shigenori

* Annual activities of Aviation Environment Research Center

Yokoshima, Makoto Morinaga, Sohei Tsujimura, Koji Shimoyama and Takashi Morihara)

- (2) Internatioal Journal of Environmental Research and Public Health, The Effect of an Alternative Definition of “Percent Highly Annoyed” on the Exposure-Response Relationship: Comparison of Noise Annoyance Responses Measured by ICBEN 5-Point Verbal and 11-Point Numerical scales, 森長誠*、グイエン・ツ・ラン*、横島潤紀*、下山晃司、森原崇*、矢野隆* (Makoto Morinaga, Thu Lan Nguyen, Shigenori Yokoshima, Koji Shimoyama, Takashi Morihara and Takashi Yano)

注)*は外部研究者

【執筆】

- (1) 日本騒音制御工学会、
騒音制御46巻3号
技術資料 地域の音環境評価のための機械学習による航空機騒音の識別
執筆者：大島俊也

【講演】

- (1) 日本騒音制御工学会、
第128回技術講習会「騒音・振動の法規制と苦情への対応・対策」
講演名：航空機騒音対策と苦情要因
講演者：篠原直明
- (2) 日本騒音制御工学会、
第130回技術講習会「環境騒音の測定方法マニュアル・ノウハウを学ぶ」
講演名：航空機騒音測定マニュアル・ノウハウを学ぶ
講演者：篠原直明
- (3) 環境省環境研修所
令和3年度騒音・振動防止研修
講演名：航空機騒音の現状と課題

- (4) 日本騒音制御工学会
環境省請負業務、令和3年度新幹線鉄道騒音・航空機騒音に関する講習会実施運営業務
講演名：航空機騒音測定・評価マニュアルに基づく航空機騒音の測定・評価方法
講演者：篠原直明

4. 広報事業

- (1) 第5回自主研究発表会
令和3年6月3日(木)、オンライン(ZOOM)方式で開催
研究発表 6件、参加者 250名
- (2) 第46回空港環境対策関係担当者研修の開催
空港周辺地域を管轄する関係自治体等職員を対象にオンデマンド方式の動画配信による研修を行った。
(申込者数237名)
- (3) 機関誌「航空環境研究」No25号発行。
- (4) 航空環境に関する国内外の多岐にわたる情報の関係機関への提供。

5. 委嘱状況(委員会委員・組織等)

- (1) 公益財団法人成田空港周辺地域共生財団
航空機騒音調査研究所 所長(非常勤)
篠原直明 [任期R3.4~R5.3]
- (2) 公益財団法人成田空港周辺地域共生財団
航空機騒音評価委員会 委員
篠原直明 [任期R2.4~R4.3]
- (3) 公益財団法人防衛基盤整備協会
防衛省委託業務、航空機騒音の評価方法等の検討に関する調査業務(その2)
委員、篠原直明 [任期R3.12~R4.3]
- (4) 中央復権コンサルタンツ(株)
環境省委託業務、我が国の環境騒音に係るあり方に関する検討会 委員
篠原直明 [任期R3.12~R4.3]
- (5) 日本エヌ・ユー・エス(株)
環境省委託業務、船舶・航空機排出大気

汚染物質の影響把握に関する検討委員会
委員 橋本弘樹 [任期R3.10~R4.3]

(6) 公益財団法人日本騒音制御工学会
会誌編集部会 委員

中澤宗康 [任期：R2.6~R4.6]

(7) 公益財団法人日本騒音制御工学会
事業部会 委員

下山晃司 [任期：R2.6~R4.6]